

いなわしろ新八景

Inawashiro
New Eight Views

「いなわしろ新八景」は、会津藩主 保科正之公に迎えられて藩主の助言者として活躍した江戸時代の朱子学者・山崎闇斎が選んだとされる「いなわしろ八景」にちなみ、現代に残る素敵な古里の風景を掘り出して新たな名所にしようと、企画されたものです。平成23年に最終選考会が行われ、町内の名所八か所に決定しました。



アクセスマップ

Access Map



お車をご利用の場合		電車をご利用の場合		高速バスをご利用の場合	
浦和駅	東北自動車道 約2時間10分	東京駅	東北新幹線 約1時間30分	新宿駅	夢街道会津号 約4時間
仙台北	東北自動車道 約1時間30分	仙台駅	東北新幹線 約50分	郡山駅	郡山行き 約1時間30分
新潟中央	磐越自動車道 約1時間30分	新潟駅	JR磐越本線 約20分	会津若松駅	会津若松行き 約1時間50分
福島空港をご利用の場合					
福島空港	バス 約40分	郡山駅	JR磐越西線 約35分	猪苗代駅	
	あぶくま高原道路 15分	矢吹IC	磐越自動車道 約20分	郡山JCT	磐越自動車道 約25分
					猪苗代磐梯高原IC

観光のお問い合わせ

(一社)猪苗代観光協会 URL <http://www.bandaisan.or.jp>

TEL.0242-62-2048 (営業時間 8:30~17:30 年中無休)

〒969-3133 福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字扇田1-4

福島県知事登録旅行業2-332号 (一社)全国旅行業協会正会員

猪苗代町商工観光課 URL <http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

TEL.0242-62-2117

〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南100



平成30年度 福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)



戊辰150周年記念

150th Anniversary of Boshin

猪苗代町

自然と歴史
散策マップ



野口英世キャラクター
ひでよくん

会津と猪苗代の歴史年表

History of Aizu and Inawashiro

BC30000	旧石器時代	小ヶ浜遺跡など			
BC 4000	縄文時代	桜川遺跡など			
	前記	五十軒遺跡など			
BC 3000	縄文時代	内野遺跡など			
	中期	法正尻遺跡など			
BC 2000	縄文時代	酸川遺跡など			
	後期	白津遺跡など			
	晩期	蟹沢浜湖底遺跡など			
BC 400	弥生時代	田茂沢遺跡など			
	中期	白津遺跡など			
AD 100	後期	くるみ沢遺跡など			
AD 300	古墳時代	三代湯家北遺跡など			
AD 400	中期	観音屋敷跡			
AD 538	中期	仏教の伝来			
AD 645	後期	大化の改新			
AD 672	後期	壬申の乱			
AD 710	奈良時代	白河・勿来の間設置			
AD 806		磐梯山噴火			
AD 807	平安時代	磐梯町 慈日寺創建			
AD 855	前記	磐梯神社従四位下となる			
AD 948	中期	小平湖天満宮建立			
AD 996	中期	鶴峰山西勝寺開山			
AD1051	後期	前九年の役はじまる			
AD1126	後期	平泉中尊寺建立			
AD1271	鎌倉時代	安程寺銅造阿彌陀如来立像			
AD1384		善名盛光、会津に黒川城築く			
		亀ヶ城、猪苗代氏支配			
AD1411	南北朝時代	観音寺宝篋印塔			
AD1510		連歌師 猪苗代兼載死す			
AD1549	室町時代	キリスト教伝来			
AD1589	安土桃山時代	摺上原の合戦			
AD1590		伊達政宗、黒川城を攻略			
AD1603	江戸時代	蒲生氏郷黒川に入り若松とする			
AD1608	前期	徳川幕府成立			
AD1624		岡越後、猪苗代城代となる			
AD1644		会津のキリシタン弾圧強まる			
AD1675		保科正之、会津松平家初代藩主			
AD1699		土津神社創建、保科正之を葬る			
AD1787	中期	保科氏、松平の姓と英紋を用う			
AD1788		寛政の改革はじまる			
AD1811		会津藩校日蓮館開かる			
AD1850		旧山内家住宅できる			
AD1853	幕末期	三忠碑建立			
AD1862		ペリー、下田に来航			
AD1866		松平容保、京都守護職となる			
AD1867		江戸幕府はるるびる			
AD1868	明治時代	戊辰戦勃発9月鶴ヶ城開城			
AD1876		野口英世、猪苗代湖畔で生まれる			
AD1880		十六橋水門完成			
AD1882		安積疏水が完成			
AD1888		磐梯山大爆発			
AD1900		沼尻硫黄山が噴火			
AD1908		猪苗代湖畔に天鏡閣できる			
AD1913	大正時代	耶麻軌道(沼尻軽便)営業開始			
AD1924		迎賓館できる			
AD1928	昭和時代	野口英世アフリカにて死去			
AD1941		太平洋戦争はじまる			
AD1950		磐梯朝日国立公園に指定			
AD1955		町村合併で猪苗代町となる			
AD1959		磐梯吾妻スカイライン開通			
AD1991	平成時代	磐梯自動車道、猪苗代まで開通			
AD1993		福島空港開港			

※青文字は全国共通の事項

亀ヶ城(猪苗代城)と土津神社の焼失について

慶応4年8月21日(新暦10月6日)、母成峠の戦いは天峻(自然の要害)を頼んでも、東軍8百名対西軍3千名という圧倒的な軍勢と兵器の差により夕方4時頃に母成峠は破られました。出撃していた猪苗代城代・高橋権太輔は急ぎ帰城しましたが、若松からの援軍は期待できないため、敵に蹂躪されて汚されるよりはと城に火をつけ、土津神社の社司・桜井豊記に命じて火をつけさせ、御神体は桜井豊記が奉持して鶴ヶ城へ退却しました。



歴史と文化を紡ぐ「ストーリー」 日本遺産の 魅力に触れる

Exploring the appeal of Japanese heritage

巡礼を通して観た住時の会津の文化 三十三観音めぐり(猪苗代)

—土地の人々に受け継がれた
いにしへの温かい心—



第1番「川府観音寺」



第3番「十一面観世音」(新町西勝寺) 第7番「千手観世音」(樋ノ口天徳寺) 第10番「准提観世音」(下館 観音堂) 第11番「如意輪観世音」(関脇優婆塞堂) 第33番「聖観世音」(三城湯長照寺)

猪苗代湖・安積疏水開拓

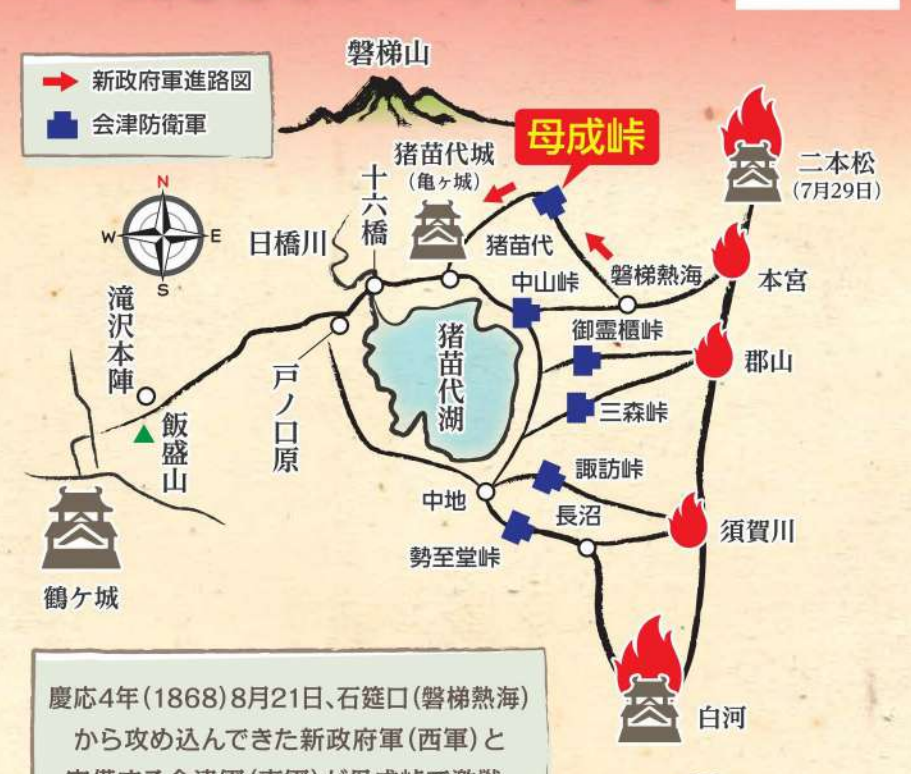
未来を拓いた「1本の水路」(郡山・猪苗代)

—大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡—



①十六橋水門 ②猪苗代湖 ③ファン・ドールン像 ④上戸頭首工

「義」の想い、つなげ未来へ。 戊辰150周年



慶応4年(1868)8月21日、石筴口(磐梯熱海)から攻め込んできた新政府軍(西軍)と守備する会津軍(東軍)が母成峠で激戦。



西軍が母成峠から、民家に火をつけながら十六橋、戸ノ口原へ向かったルート。



母成峠古戦場跡

慶応4年(1868)8月21日、二本松城を陥落させた新政府軍(西軍)は、三手に分かれて母成峠に殺到します。西軍、板垣退助・伊地知正治・谷干城・川村純義率いる3,000の兵を迎え討った東軍は、大島圭介・田中源之進・丹羽丹波・土方歳三以下800名でした。圧倒的な軍勢と兵器の差に撃破され、この戦いは早朝には始まり夕方には決着がつきます。西軍の戦死者は25名、東軍の戦死者は88名。古戦場跡にはこの戦いで亡くなった東軍兵士の慰霊碑、埋葬地があります。

磐梯神社

磐梯明神が起源
悠久の時を超え、古に想いを馳せるロマン

応神天皇の御代(270年頃)、磐梯明神として磐梯山頂に祀ったのが始まりといわれ、天平元年(729)の聖武天皇の御代に現在の見称山に遷座(移す)されたと伝えられる格式高い神社です。

亀ヶ城(猪苗代城)を築いた猪苗代経連をはじめとする歴代藩主が庇護。正之公は、社殿の造営や社領を寄進し、自らも参拝して神事を行いました。

境内には樹齢800年といわれている巨木の鳥居杉があります。また、村上天皇の勅使が京より持ってきたというサトザクラの一種の子孫で、会津五桜の一つに数えられる珍しい花の「大鹿桜」があり、5月上旬の開花期には大勢の人が訪れます。

土津神社からの土田堰沿いの道は、悠久の流れと深い木立の中にあって古を想い起こさせます。



土津神社

会津藩祖保科正之公を祀った神社
春のコヒガンザクラ、秋の紅葉の名所

正之公は亡くなる年に帰郷して磐梯神社に参拝し「我れ磐梯神社の末社となつてここに埋まらう」と決心されました。その遺言により、2代藩主正経が家老の友松勘十郎氏典に命じ、延宝3年(1675)に完成しました。

正之公は、鶴ヶ城(若松城)からは鬼門にあたることから、この地より会津藩を守ろうと思ったようです。

重厚な感時門や廻廊、透塀などを持つ荘厳華麗な神殿造りの社殿は「東北の日光」といわれましたが、戊辰戦争で焼失し、明治13年(1880)に拝殿などの主な部分が再現されて現在に至っています。

土田堰の橋を渡り、大鳥居をくぐって左に奔雷瀑、男坂と呼ばれる石段を登ると拝殿。拝殿の右手前のひとときわ高い石碑が日本一といわれる「土津霊神碑」です。

拝殿から奥に幣殿・本殿と続き、拝殿の左に神銭所、右に神楽殿があります。本殿の左右には功績のあった家臣などの末社が並んで建っています。



十六橋と戸ノ口原の戦い

慶応4年(1868年)8月21日母成峠が破られたとの報が伝えられたが、日橋側に架かる十六橋の破壊に間に合わず、新政府(西軍)は橋を渡って戸ノ口原に侵攻。白虎隊は戸ノ口原で西軍と戦うが圧倒的な軍勢と兵器の差によって退却して20名が飯盛山に集結。協議の末に、敵に専めを受けるよりは武士の本懐を遂げようと自刃した。



猪苗代 兼載

兼載は、猪苗代式部少輔盛美の子として1452年小平瀨に生まれ、幼くして仏門に入る。(法号は興後。)やがて京都に出て39才の若さで連歌師として最高の「北野連歌会所奉行・宗匠」の栄職につきました。その後、京都を離れ岩城大館を中心に会津・岩城。下野・上野にわたり活躍しました。



MAP C-4

1 観音寺川

見頃/4月下旬~5月上旬

所在地/猪苗代町川桁地区

町内川桁地区を流れる観音寺川約1kmの川畔に続くソメイヨシノの桜並木。東北夢の桜街道第11番札所に選定されており、期間中は桜まつりが開催されます。桜のライトアップもあり夜桜も楽しめます。

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

JR川桁駅より徒歩で約5分

2 達沢不動滝

見頃/5月~11月

所在地/猪苗代町大字蜜養字達沢

安達太良連峰の船明神山に源をもつ不動川にかかる達沢不動滝。滝元には不動尊を祀っています。水がスダレのように流れ落ちる勇壮な男滝と、その西側にひっそりとたたずむ優美な女滝が好対照を見せています。

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代I.C.より車で約40分



MAP D-2



MAP A-4

3 天鏡閣

見頃/4月下旬~5月上旬

所在地/猪苗代町翁沢字御殿山1048

お問合せ先 天鏡閣 ☎0242-65-2811

猪苗代I.C.より車で約10分



MAP B-3

9 亀ヶ城公園

見頃/4月下旬~5月上旬

所在地/猪苗代町古城町7150-1

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代I.C.より車で約5分



春日 Spring



夏 Summer



10 蕎麦の花

見頃/8月下旬~9月上旬

所在地/猪苗代町内各地区

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

町内各地区でご覧になります。



11 猪苗代ハーブ園

開園期間/4月~11月下旬

所在地/猪苗代町川桁字天王坂2414

お問合せ先 ホテルリステル猪苗代 ☎0242-66-2690

猪苗代I.C.より車で約10分



MAP B-3

8 土津神社

見頃/10月下旬~11月上旬

所在地/猪苗代町見称山1

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代I.C.より車で約10分



MAP D-1

12 白糸の滝

見頃/10月中旬~下旬

所在地/猪苗代町安達太良沼尻登山口

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代I.C.より車で約40分



秋 Autumn



冬 Winter



各スキー場ガイド

シーズン/12月下旬~3月下旬

所在地/猪苗代町内各地区

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代スキー場 [中央×ミネロ] 沼尻スキー場 猪苗代リゾートスキー場 リステルスキーファンタジア 箕輪スキー場 ファミリースノーパークばんだい×2



13 長浜・志田浜の白鳥

飛来時/10月下旬~3月末

所在地/猪苗代町長浜・志田浜

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代I.C.より車で約10分



MAP D-1

7 中津川渓谷

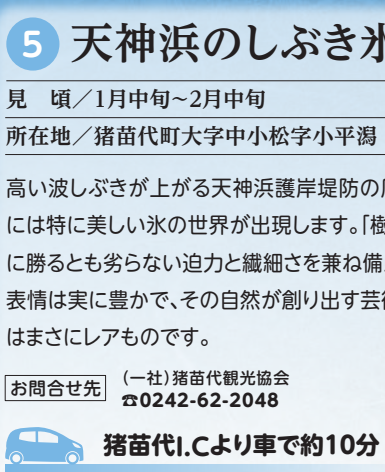
見頃/10月中旬~11月上旬

所在地/猪苗代町若宮宇妻山

秋元湖に注ぐ中津川渓谷は紅葉の名所として有名。秋にはカエデ、ハンノキ、ヤマザクラなどが色づき、磐梯吾妻レークラインの橋からの眺めは目もくらむ絶景。レストハウスより徒歩15分程度で渓谷へ下る事ができます。

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代I.C.より車で約40分



5 天神浜のしぶき水

見頃/1月中旬~2月中旬

所在地/猪苗代町大字中小松字小平瀨

高い波しぶきが上がる天神浜護岸堤防の周辺には特に美しい氷の世界が出現します。「樹氷」に勝るとも劣らない迫力と繊細さを兼ね備えた表情は実に豊かで、その自然が創り出す芸術品はまさにレアものです。

お問合せ先 (一社)猪苗代観光協会 ☎0242-62-2048

猪苗代I.C.より車で約10分



MAP C-5